

新潟県新潟市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	227,419,621	39,410,502	266,830,123	54.3%	私有林人工林の整備や建築物の 木造・木質化等を推進する
譲与額（円）	382,628,000	108,981,000	491,609,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	譲与税充当事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	森林経営管理法に基づく 事業、保安林の機能維持	71,181,505	36,008,605	集積計画策定森林11.36haの間伐や海岸保安林の病 害虫対策、クロマツの植樹などを行った。
人材育成	地域住民参加型の 森林整備	2,439,897	2,439,897	森林整備ボランティア7団体の活動経費支援や、貸 出機材にかかる安全講習会などを行った。
木材利用	民間施設の木造・ 木質化支援	1,924,000	962,000	県産材4.8㎡を活用し遊具等を整備した2保育園に 対し、支援を行った。
基金積立		69,570,498	69,570,498	新潟市森林環境譲与税積立基金
合計		145,115,900	108,981,000	

■今後の実施計画

①私有林人工林の整備を推進

林業経営体への斡旋や、市町村森林経営管理事業による
切捨間伐等により、整備済森林面積を着実に拡大していく。



切捨間伐
実施後の
森林

②建築物の木造・木質化等を推進

森林資源の有効利用を図るため、市内の公共建築物や民
間施設において地域材などの利用を推進する。



山潟コミ
ュニティ
ハウス
(R5年度)

- 新潟市では、森林所有者の高齢化・不在地主の増加等により、適切な管理が困難となった森林の増加が課題となっていることから、森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度による森林整備を推進しています。
- 令和6年度は、経営管理権集積計画を策定した地区の私有林について、間伐を実施。発注数量等を算出する際には、リモートセンシングデータの森林資源解析結果を活用しました。

事業内容

ICTを活用した私有林の整備

- 令和5年度に経営管理権集積計画を策定した地区の私有林について、測量、選木、切捨間伐を一環作業として業務委託を行った。

【実績】 間伐面積 11.36ha、周囲測量 1,600m
間伐率 約3割

【事業費】 4,520千円（全額譲与税）

取組の背景

- 傾斜が急、路網からの距離が遠い、小面積など、森林経営が成り立たずに長期間整備されていない森林が多いため、災害防止の観点から森林整備を進める必要がある。
- 本県では地域柄、降雪までの期間に森林整備を集中して進める必要があり、林業事業体のマンパワー不足に拍車がかかっている。



施業班別伐採本数位置図

取組の効果

- 林分全体を正確にとらえるため、本来であればプロット地の設定には調査者の熟練が必要だが、既存データの活用によりプロット調査の省略が可能となった。
- プロット調査を省略したことで、委託期間の短縮及び金額の減につなげることができた。



着手前



完了

基礎データ

①令和6年度譲与額：108,981千円		②私有林人工林面積（※1）：2,353ha	
③林野率（※1）：7.5%	④人口（※2）：789,275人	⑤林業就業者数（※2）：50人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

工夫・留意した点

- 発注数量等を算出するにあたり、令和2年度に実施したリモートセンシングの森林資源解析結果を活用。
- 森林総合研究所の収量比数計算プログラムを使用して、収量比数を指標として施業番号ごとに適正伐採本数を算定した。